



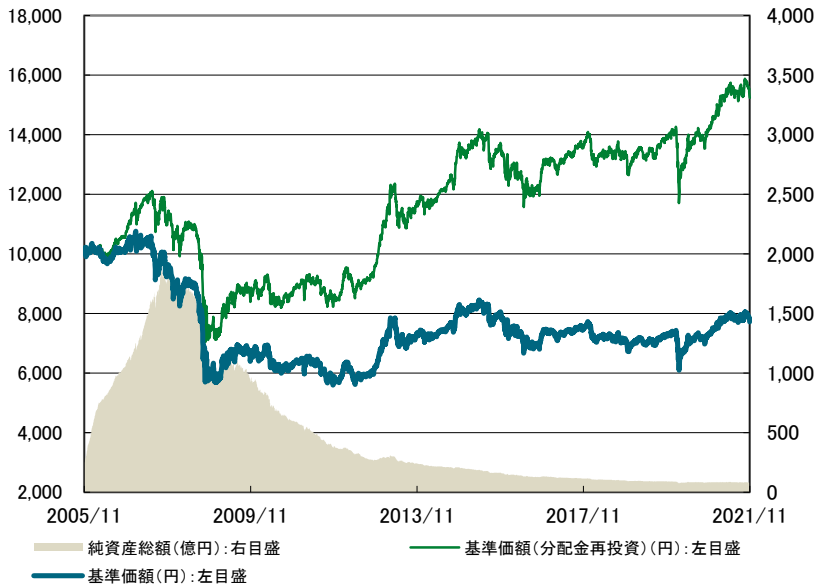
3資産バランスオープン 《愛称:トリプルインカム》

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2005年11月30日

作成基準日 : 2021年11月30日

基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	7,719円	-280円
純資産総額	78.86億円	-3.78億円

期間別騰落率

	騰落率
1ヵ月	-3.38%
3ヵ月	-1.17%
6ヵ月	-1.83%
1年	7.92%
3年	13.81%
設定来	52.32%

- ※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 5,300 円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円
2021年	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	-

- ※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。



3資産バランスオープン 《愛称:トリプルインカム》

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2005年11月30日

作成基準日 : 2021年11月30日

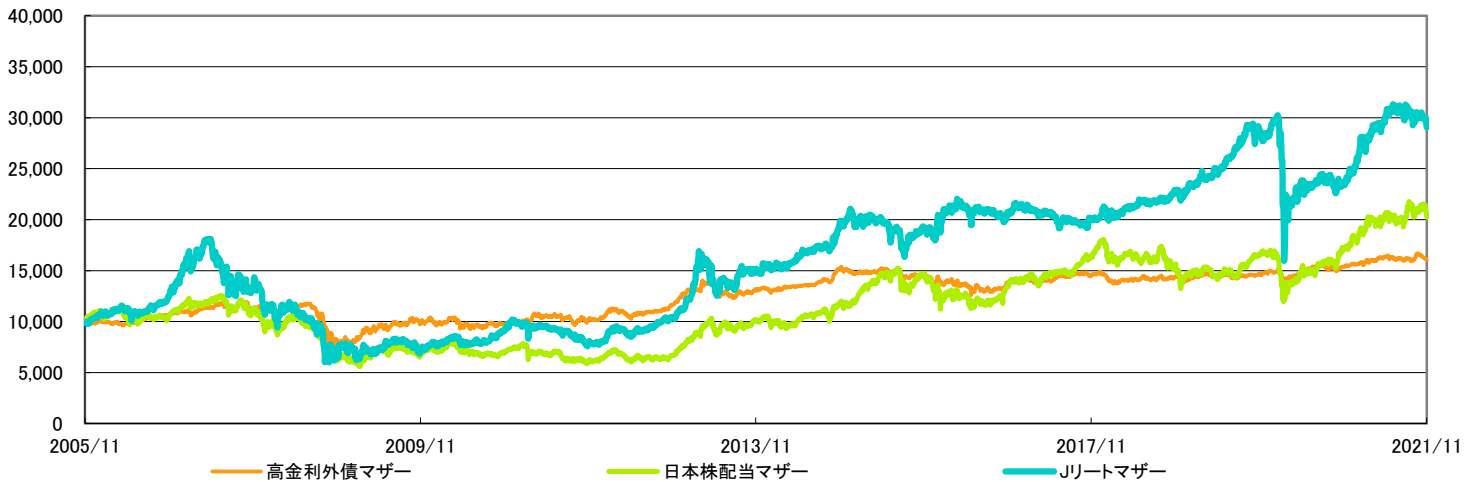


マザーファンドの状況

投資対象資産	投資対象とするマザーファンド	配分比率	基本配分比率
海外債券	高金利外債マザーファンド	70.71%	70.00%
国内株式	日本株配当マザーファンド	19.36%	20.00%
Jリート	Jリートマザーファンド(M)	9.69%	10.00%

※ 対純資産総額比です。

マザーファンドの基準価額の推移



※ 当ファンドへの組入開始時を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。

ファンドの運用状況

11月は基本配分比率通り、各マザーファンドへ配分しました。
 ファンド内では、「Jリートマザーファンド(M)」、「高金利外債マザーファンド」および「日本株配当マザーファンド」の基準価額はいずれも下落し、ファンド全体としては前月末比3.38%の下落となりました。
 今後も基本配分比率に従い3資産へ分散投資を行うことで、ファンドの安定運用、中長期的な成長を目指します。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



3資産バランスオープン 《愛称:トリプルインカム》

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2005年11月30日

作成基準日 : 2021年11月30日

高金利外債マザーファンドの資産の状況

※ 債券評価額には経過利子を含めています。

資産内容

債券	98.24%
債券先物取引	0.00%
短期金融資産等	1.76%
合計	100.00%

※ 対純資産総額比です。

特性値

残存年数	7.80年
修正デュレーション	7.04
最終利回り	1.53%
直接利回り	2.42%

※ 修正デュレーションとは債券価格の金利変動に対する感応度(変動率)を表しており、この値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※ 利回り(税引前)は純資産総額に対する値、その他は組入債券に対する値です。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

組入上位5カ国・地域

	国・地域	比率
1	カナダ	34.33%
2	国際機関(債券)	19.08%
3	ノルウェー	19.01%
4	米国	10.82%
5	オーストラリア	9.35%

※ 対純資産総額比です。

組入上位5通貨

	通貨	比率
1	ノルウェー・クローネ	28.51%
2	米国ドル	25.43%
3	カナダ・ドル	19.71%
4	オーストラリア・ドル	14.67%
5	英国ポンド	9.92%

※ 対純資産総額比です。

組入上位10銘柄

	銘柄名	クーポン	通貨	比率
1	BRITISH COLUMBIA PROVINCE	2.250%	米国ドル	14.62%
2	NORWEGIAN GOVERNMENT	1.750%	ノルウェー・クローネ	12.25%
3	EUROPEAN INVESTMENT BANK	1.500%	ノルウェー・クローネ	9.50%
4	BRITISH COLUMBIA PROVINCE	5.700%	カナダ・ドル	8.83%
5	NORWEGIAN GOVERNMENT	1.375%	ノルウェー・クローネ	6.48%
6	CANADA GOVERNMENT	1.500%	カナダ・ドル	5.37%
7	UK TREASURY	4.250%	英国ポンド	5.17%
8	EUROPEAN INVESTMENT BANK	4.500%	英国ポンド	4.27%
9	US TREASURY	5.375%	米国ドル	4.17%
10	EUROPEAN INVESTMENT BANK	3.100%	オーストラリア・ドル	3.85%

※ 対純資産総額比です。

組入銘柄数 : 28

ファンドマネージャーのコメント

債券市場では、BOE(英中央銀行)が利上げを見送ったことやECB(欧州中央銀行)総裁が市場の利上げ織り込みに対するけん制発言をしたことなどから早期の金融政策正常化懸念が後退したほか、新たな新型コロナウイルス変異株の感染拡大への警戒によるリスク回避姿勢の高まりから長期金利は低下(債券価格は上昇)しました。為替市場では、新たな新型コロナウイルス変異株の感染拡大懸念によるリスク回避の動きから、組入通貨は対円で概ね下落しました。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



3資産バランスオープン 《愛称:トリプルインカム》

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2005年11月30日

作成基準日 : 2021年11月30日

日本株配当マザーファンドの資産の状況

資産内容

株式	96.86%
株式先物取引	2.57%
短期金融資産等	0.57%
合計	100.00%

※ 対純資産総額比です。

特性値

予想配当利回り	2.85%
---------	-------

※ 予想配当利回り(税引前)は、各種情報を基に組入銘柄の予想配当利回りを加重平均して算出した値(対純資産総額比)です。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

組入上位5業種

	業種	比率
1	電気機器	17.69%
2	情報・通信業	12.86%
3	輸送用機器	9.62%
4	卸売業	7.83%
5	銀行業	7.65%

※ 対純資産総額比です。

組入上位10銘柄

	銘柄名	比率	予想配当利回り
1	トヨタ自動車	5.24%	2.54%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.03%	4.65%
3	東京エレクトロン	2.92%	2.14%
4	伊藤忠商事	2.86%	3.37%
5	三井物産	2.64%	3.71%
6	信越化学工業	2.63%	1.57%
7	日立製作所	2.60%	1.71%
8	三井住友フィナンシャルグループ	2.57%	5.67%
9	日本電信電話	2.53%	3.52%
10	三菱商事	2.33%	4.18%

※ 対純資産総額比です。

組入銘柄数: 75

※ 予想配当利回り(税引前)は、各種情報を基に当社が算出したものです。

※ 新規上場、合併等により、予想配当利回りが推定できない場合は、「-」で表示しています。

ファンドマネージャーのコメント

【運用実績】

相対的に配当利回り魅力度が高い銘柄や今後の株主還元拡大期待がある銘柄、業績が良好な銘柄などを買い付けた一方で、相対的に配当利回り魅力度が劣る銘柄や業績先行き不安のある銘柄などを売却しました。

具体的には、コロナ禍で苦戦していた航空機リース事業や空港運営事業の回復を背景とする株主還元拡大に期待しているオリックス、半導体不足からの挽回生産を背景とする株主還元拡大に期待しているアイシン、デンソーを買い付けました。

一方、株価上昇により指標面での割安感が薄れてきたデクセリアルズ、ゲームソフトの販売モメンタムが頭打ちになってきた任天堂、今期の利益を牽引している資源価格高騰の反落リスクを警戒している伊藤忠商事を売却しました。

【パフォーマンス状況】

基準価額は前月末に対して下落しました。

個別銘柄面ではデクセリアルズ、東京エレクトロン、Zホールディングスなどがプラスに寄与した一方、大和ハウス工業、テクノプロ・ホールディングス、日本製鉄などがマイナスに影響しました。

【今後の運用方針】

海外での新たな新型コロナウイルス変異株の出現は気掛かりですが、一方、国内では新型コロナウイルスワクチンの普及に伴い経済正常化が進み始めており、株式相場は引き続き底堅く推移していくと判断しています。

予想配当利回りが魅力的な水準にある銘柄を中心に投資し、安定的な配当収益の確保を目指すと同時に、増配が期待される銘柄も組み入れることにより、値上がり益の追求も目指すという基本方針に変更はありません。

この基本方針のもと、配当利回り面での魅力が低下した銘柄や増配期待の後退した銘柄を売却する一方で、配当利回りが高い銘柄や好業績により増配や株価上昇が期待できる銘柄への入れ替えを行う予定です。

引き続き、業績安定感があり増配・自社株買いが期待できる銘柄に主軸を置いたポートフォリオとする方針です。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



3資産バランスオープン 《愛称:トリプルインカム》

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2005年11月30日

作成基準日 : 2021年11月30日

Jリートマザーファンド(M)の資産の状況

資産内容

J-REIT	98.95%
短期金融資産等	1.05%
合計	100.00%

※ 対純資産総額比です。

特性値

予想配当利回り	3.42%
---------	-------

※ 予想配当利回り(税引前)は、各種情報を基に組入銘柄の予想配当利回りを加重平均して算出した値(対純資産総額比)です。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

組入上位10銘柄

	銘柄名	比率	予想配当利回り
1	日本ビルファンド投資法人	8.78%	3.29%
2	ジャパンリアルエステイト投資法人	7.49%	3.48%
3	GLP投資法人	6.32%	3.05%
4	日本都市ファンド投資法人	6.19%	4.60%
5	大和ハウスリート投資法人	5.16%	3.55%
6	オリックス不動産投資法人	5.07%	3.83%
7	日本プライムリアルティ投資法人	4.24%	3.73%
8	アクティビア・プロパティーズ投資法人	3.70%	4.33%
9	フロンティア不動産投資法人	3.38%	4.33%
10	ユナイテッド・アーバン投資法人	3.22%	4.29%

組入銘柄数: 49

※ 対純資産総額比です。

※ 予想配当利回り(税引前)は、各種情報を基に当社が算出したものです。

※ 新規上場、合併等により、予想配当利回りが推定できない場合は、「-」で表示しています。

ファンドマネージャーのコメント

【市場動向】

J-REIT市場は下落しました。

月初は、政府による新型コロナウイルスの水際対策の緩和を受けた経済活動の本格化への期待感などから底堅く推移しました。しかしその後は、複数の銘柄が公募増資を発表したことで短期的な需給悪化が意識されたことや、新型コロナウイルスの新たな変異株への警戒感が強まりリスクオフの動きがJ-REIT市場にも波及し下落する展開となりました。

【運用実績】

売買実績は、約1.2億円の売り越しとなりました。

銘柄選択としては、SOSiLA物流リート投資法人や大和ハウスリート投資法人などを売却しました。(マザーファンドベース)主なポートフォリオの変化としては、投資口価格の変動や利回りの割安感などに着目したウェイト調整等により、ユナイテッド・アーバン投資法人が上位10銘柄に浮上しました。

【市場の見通し】

今後のJ-REIT市場は、新型コロナウイルスの感染状況の変化や金利動向、経済情勢や政治動向など、短期的には外部環境の変化等による不安定な動きが想定されます。足元は新型コロナウイルス変異株(オミクロン)の影響から不透明感が強まっています。一方、新型コロナウイルスのワクチン接種率が向上し、同ワクチンの効果や経済対策等も期待されることなどから、不動産市況の安定が確認され、低金利政策が維持される状況においては、底堅く推移する展開を予想します。

【今後の運用方針】

不動産投資マーケット(賃貸市場・売買市場)や金利動向等に留意しつつ、引き続き、高位の組み入れを行っていく方針です。

銘柄選択では、J-REITの配当源泉である組み入れ物件のキャッシュフロー獲得能力に主眼を置き、あわせてJ-REIT運用会社のファンド運営能力に留意し、投資口価格のバリュエーションを踏まえて、ポートフォリオを組成する方針です。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



3資産バランスオープン 《愛称:トリプルインカム》

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2005年11月30日

作成基準日 : 2021年11月30日



ファンドの特色

1. 3つの資産「海外債券」「国内株式」「Jリート(国内の不動産投資信託証券)」に分散投資します。
2. 基本配分比率は以下の通りです。
高金利外債マザーファンド70%、日本株配当マザーファンド20%、Jリートマザーファンド(M)10%

投資リスク

《基準価額の変動要因》

- ファンドは、変動のある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
従って、**投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆様に帰属します。**
- **投資信託は預貯金と異なります。**

【株価変動リスク】

株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【リートの価格変動リスク】

リートの価格は、不動産市況(不動産稼働率、賃貸料、不動産価格等)、金利変動、社会情勢の変化、関係法令・各種規制等の変更、災害等の要因により変動します。また、リート及びリートの運用会社の業績、財務状況の変化等により価格が変動し、基準価額の変動要因となります。

【為替変動リスク】

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

【金利変動リスク】

債券の価格は、一般的に金利低下(上昇)した場合は値上がり(値下がり)します。また、発行者の財務状況の変化等及びそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。債券価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【信用リスク】

有価証券の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、又はそれが予想される場合には、有価証券の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【流動性リスク】

時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



3資産バランスオープン 《愛称:トリプルインカム》

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2005年11月30日

作成基準日 : 2021年11月30日

お申込みメモ

- 購入単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入価額 … 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
- 換金単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 … 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額とします。
- 換金代金 … 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
- 申込締切時間 … 原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
- 換金制限 … ファンドの規模及び商品性格などに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間及び金額の制限を行う場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入・換金申込受付の中止及び取消し … 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金のお申込みの受け付けを中止すること、及びすでに受け付けた購入のお申込みの取消しを行うことがあります。
- 信託期間 … 無期限(2005年11月30日設定)
- 繰上償還 … 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させることができます。
 ・受益権の口数が10億口を下回るようになった場合
 ・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合
 ・やむを得ない事情が発生した場合
- 決算日 … 毎月10日(休業日の場合は翌営業日。)です。
- 収益分配 … 年12回、毎決算時に原則として収益分配を行う方針です。
- 課税関係 … 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。
 なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

《投資者が直接的に負担する費用》

■ 購入時手数料

購入申込受付日の翌営業日の基準価額に**3.3%(税抜3.0%)を上限**として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

■ 信託財産留保額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.3%**の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。

《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》

■ 運用管理費用(信託報酬)

純資産総額に対して**年率1.265%(税抜1.15%)**

■ その他の費用・手数料

監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用、マザーファンドの解約に伴う信託財産留保額等をその都度(監査費用は日々)、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。
 また、上場投資信託証券は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託証券の費用は表示しておりません。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



3資産バランスオープン 《愛称:トリプルインカム》

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2005年11月30日

作成基準日 : 2021年11月30日

委託会社・その他の関係法人の概要

- 委託会社 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図を行う者)
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号
 加入協会 : 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
 ホームページ : <https://www.smtam.jp/>
 フリーダイヤル : 0120-668001 受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管及び管理を行う者)

販売会社

商号等	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

- ・ お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・ 販売会社は今後変更となる場合があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



3資産バランスオープン 《愛称:トリプルインカム》

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2005年11月30日

作成基準日 : 2021年11月30日

収益分配金に関する留意事項

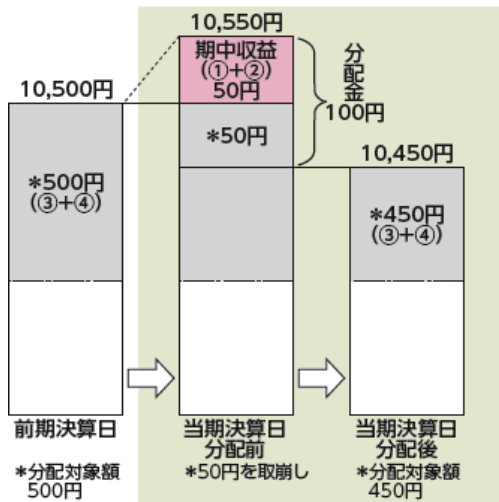
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



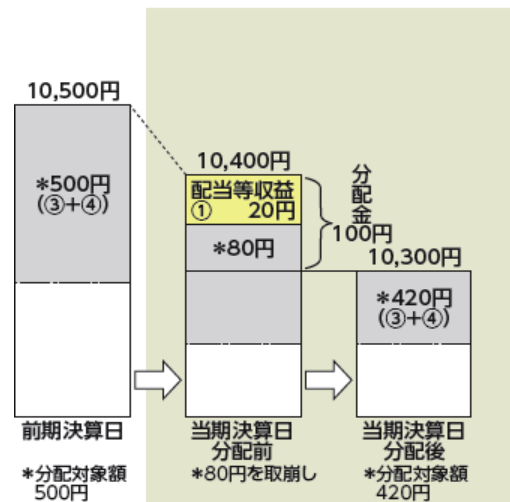
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)

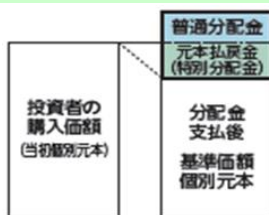


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益及び②経費控除後の評価益を含む売買益並びに③分配準備積立金及び④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※ 上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆あるいは保証するものではありませんのでご注意ください。

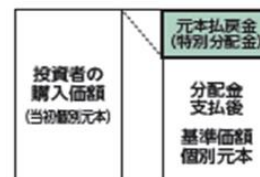
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



※ 元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。